

平成28年2月8日

大阪市立デザイン教育研究所

平成27年度 第2回教育課程編成委員会

開催日時

平成28年2月8日（月）18:00～19:00（デ研展開催期間）

参加委員

| | |
|---------------|----------|
| 常翔学園大阪工業大学工学部 | 特任教授 |
| 株式会社 近創 経営企画部 | 課長 |
| 大阪市立デザイン教育研究所 | 所長 |
| 大阪市立デザイン教育研究所 | 准教授（司会者） |

教育課程編成委員会 次第

1 研究所展覧会視察（司会者誘導）

18:00～18:30

2 会議

18:30～19:00（所長室へ移動）

議長選出

視察所感

『以前はプロジェクトに取り組んだメンバーをキャプション化していたが、今年はなくなっている。あった方がプロジェクト規模を類推しやすい。』

『ビジュアルも大切だが、文章の少なさは気になる。』

1号議案 教育課程実施報告

今年度前期カリキュラム 結果の説明

春秋冬の3期に研究所の展覧会を開催した。デザインの制作過程をわかりやすく説明できる資料作りを通じて学習の振り返りに注力してきた → 一定の成果

◆1年

昨年度スケッチ力などの個人の力が低下したため1年前期プロジェクトに遅れが出た。 → 今年度は専任全員の指導体制（放課後の指導）を実施

1年前期終了時期に息切れする学生が出る → 後期はポートフォリオ1で分けて指導（グラフィック系に起業の話題・プロダクト系にモノづくり中小企プロジェクト・空間系にVMD小プロジェクト）

急に休みがちになる学生の対応

企画者としての自分に限界を感じ、グループで取り組むとストレスになる → 一年間の教育が終了した人が2年から表現コースに分岐できる仕組みを検討

『企業でもストレスチェックが必要。』

『大学でも』

『高校と連携して対策に当たると良い。』

『表現コースに関してはボーダレスアートの島本昭三さんの活動などが参考になるのでは。』

◆ 2年

研究所展覧会を春秋冬に企画・実施。

後期は大型のプロジェクトをなくし、小ぶりのプロジェクトをプロダクト、VMDを中心に実施した。

『いくつ実施したのか。』 『今年度は小ぶりにしたため数は64実施し、例年に比べ1.3倍となった。』

2年生向けに土曜の活用のため、ビジュアル系・プロダクト系の授業を設定 → 活動的にはなった。ビジュアル系の子どもデザイン教室は好評価を得た。プロダクト系は学生の意識が低いと低評価となった。

2号議案 教育課程編成計画の検討

来年度前期カリキュラム 計画の説明

研究所の展覧会を春秋冬の3期に開催する。継続してデザインの制作過程をわかりやすく説明できる資料作りを通じて学習の振り返りに注力する。加えて、地域連携型プロジェクト開始当初に、地域とプロジェクトの関係を注意深く探り、他のプロジェクトとの関係を持たせる。→ プロジェクト課題にぶら下がらず、積極的に構成する。

その他

『ビジュアルも大切だが、文章の少なさは気になる。』

『企業でも若い社員は書き言葉と話し言葉が混在する。そこそこの位置の社員でもありがち。』